

従業員対象人権研修会 平成28年12月8日(木)

12月8日(木)忍の里プララにて、会員企業の従業員を対象の研修会が229名参加のもと開催されました。

佛教大学教授、原清治さんによる「ネット社会と人権」と題しての講演でした。

今やネット社会であり、ネット情報は日常の生活の中で必要不可欠な情報源です。反面、ネット情報は、危険であり、ネット社会の深みにはまると、生活のリズムを壊しかねないケースもあります。

それを、原先生は、そうしたネット社会で生きて行く現代の若者(大学生・高校生・中学生)を対象にネット情報がどのように影響しているか鋭く観察しておられました。

先生によりますと、人と話すことが少なく特に対人関係の苦手な人は一人にいることを見られたくないとのことで、ひとりぼっちの席である「ポッチ席」が増加しているとのことでした。

また、中学生・高校生の中には、クラス内のグループ・部

活のグループ等の下位グループは発言さえ許されない事例もあるようで、それが「いじめ」の温床になっていることも報告されておられました。

そうした状況は、学生に限ることではなく、私たちは家庭・社会・職場において、こういった現状に目を逸らすことなく人権問題に取り組む必要があります。

私たちの職場では、先ず挨拶で始まりミーティングの励行、相手の思いを真摯に受け止めること、良い事はお互いに協力することを実践しています。これにより、安全に作業ができ、グループ内の結束と人間関係の充実に繋がると信じております。

加えて、家庭生活においても対話が基本であり、可能な限り食事は全員で、携帯電話についても一定の使用ルールを共有し、規範意識を家族全員で持つことが重要と先生の話にあり、私もそのように考えます。

これからのネット社会で、他人に迷惑をかけることなく、上手につきあい、ネット社会に心した上で、ネット情報を楽しく有効に使いこなし、共生していきたいと思っております。心打たれる講演会でした。

(一般財団法人 土山町緑のふるさと振興会 田畑啓之助・記)



熱心に講義の原教授



講義に聴き入る参加者

役員対象フィールドワーク研修

平成29年2月3日(金)

2月3日(金)甲賀市企人協役員対象フィールドワーク研修会が開催されました。参加者21名。今回の訪問先は三重県人権センターです。バスにて、道中は「マタニティ・ハラスメント」のDVDを鑑賞しながら、1時間程度で現地に到着。到着後、研修室にて、センター職員の味岡講師より、ご自身の中学校教師としての生徒との関わりの中で体験された「被差別部落出身の生徒の苦悩」、「人権センターで働くきっかけ」、「教頭・校長として、帰宅後も気の抜けない、待機の心境」等を熱く、時には一人芝居のように臨場感ある熱い語りで、「差別は絶対許さへん!」と決めた自分が、愛娘のことになると、グラッと「彼氏が被差別部落出身者であったら、他者からのいわれなき差別に耐えられるだろうか? こいつは世間を知らん。守ってやらな。」と不安になり、「この考えこそ差別やないか!」と、今まで「自分は絶対に差別はしない」と思っていた自分が、いとも簡単に「差別しようとしている」ことに愕然としたことまで、赤裸々に語っていただきました。被差別部落に住む人々が、今まで差別を受けたことがなくても、新しい出会いの度に「差別されるかも知れない」という不安が一生付きまとう深刻さ、だからこ

そ、「自分は関係ない」と思う人に、同和問題他、様々な差別の起こりや歴史、今も脈々と受け継がれる慣習、忌避意識を正しく知ってもらう必要がある。「人として対等であると接することが尊重するということ」と学びました。昼食後、館内展示室で、「謂われなき差別は、どのように作られたのか?」について、同じく味岡講師から、展示パネルを示しながら、熱心に説明をして頂きました。今まで知ったつもりで知らなかった、初めて聴く内容もあり、大変有意義なお話でした。三重県人権センターの展示はとても充実していて、子供にもわかりやすく、興味を引く仕掛けもたくさんあり、すばらしいと感心しました。とても有意義なフィールドワーク研修だったと思います。



(社福) 信楽福祉会 谷口義幸・記



会長就任にあたって

甲賀市企業人権啓発推進協議会
会長 倉森 晃

向暑の候、会員企業の皆様方には益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、当協議会の活動に格段のご支援、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

先日、4月21日に開催されました甲賀市企業人権啓発推進協議会第13回(平成29年度)総会において、田所智宏前会長の後任として、会長の大役を仰せつかりました倉森でございます。歴代会長の当協議会の活動に対する熱い意志を引き継ぎ、当協議会の趣旨であります「基本的人権が尊重された、差別のない明るい職場づくり」の実現に向けた取り組みに力を注いでまいり所存でございますので、今後ともご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨今においても人種差別やハラスメントが起こっているのが現状です。人権教育及び人権啓発

の推進に関する法律には「国民は、人権尊重の精神の涵養に努めるとともに、人権が尊重される社会の実現に寄与するよう努めなければならない。」とあります。法律とは理想(目的)を達成するための手段・方法というように思います。人権が尊重される社会を実現させるために、人権に関する知識や実践力・行動力を一人ひとりが体得することが、素晴らしい社会の実現につながることは言うまでもありません。「差別は人の心の中に生まれるものであるから人の心の中に人権の砦を築かなければならない」ということを念頭におき、当協議会の発展に邁進する所存でございますので会員企業の皆様には引き続き当協議会の活動に、ご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。

役員紹介 (平成29・30年度)



会長
倉森 晃



副会長
松山 元彦



副会長
田所 智宏



副会長
小林 壽晃



副会長
江籠 達



事務局長
津田 納

会長	倉森 晃	甲賀バラス(株)	理事	岩室 鉄吾	(株)ジーテクト
副会長	松山 元彦	(株)コーガイソトープ	理事	谷口 義幸	(社福)信楽福祉会 信楽荘
副会長	田所 智宏	NEC SCHOTTコンポーネンツ(株)	理事	橋本 一馬	セキスイボード(株)
副会長	小林 壽晃	(株)滋賀松風	理事	笹井 建男	甲賀協同ガス(株)
副会長	江籠 達	(株)アークレイファクトリー	理事	田井中 洋	滋賀交通(株)水口営業所
事務局長	津田 納	甲賀農業協同組合	理事	森口 彰	西川ローズ(株)甲賀事業所
理事	田中 健二	近江鉄道(株)土山サービスエリア	理事	瀬古 良夫	大原薬品工業(株)
理事	小嶋 薫里	(社福)甲南会せせらぎ苑	理事	祖田 啓	医療法人社団仁生会甲南病院
理事	神能 由佳	(社福)甲賀学園	理事	山城 昭樹	甲賀農業協同組合信楽支所
理事	宇田 和弘	(社福)あいの土山福祉会	理事	穴田 弘之	(株)滋賀銀行水口支店
理事	木田 一志	山一化工(株)滋賀工場	監事	曾我三四次	(株)水口テクノス
理事	弘重 晴康	住友電工ウインテック(株)	監事	小泉 政雄	(株)滋賀銀行大原支店

甲賀市企業人権啓発推進協議会第13回(平成29年度)総会

全議案承認され終了

去る4月21日(金)午後2時30分より、忍の里プラザ(甲南町)において、甲賀市企業人権啓発推進協議会第13回(平成29年度)総会が会員企業98名・事務局5名の参加(委任状97名)で開催されました。

総会に先立ち、平成28年度人権標語優秀作品の表彰が行われ、12名の入選者に田所会長から表彰状と副賞が贈られました。

開会にあたり田所会長は『自分の尺度で様々な人を排除、忌避するのではなく、相手に対して常に付度(そんたく)し斟酌(しんしゃく)することが人権問題解決の第一歩です』とあいさつしました。

続いて来賓祝辞(甲賀市産業経済部 伴次長、ハローワーク甲賀 赤堀所長)と進み、議事に入りました。

審議いただいた次の6議案が原案通り満場一致で承認されました。

第1号議案「平成28年度事業報告について」

第2号議案「平成28年度収支決算について」

第3号議案「平成29年度事業計画(案)について」

第4号議案「平成29年度収支予算(案)について」



平成29・30年度役員決意の挨拶

第5号議案「甲賀市企業人権啓発推進協議会会則の一部改正について」

第6号議案「平成29年度役員(案)承認について」

倉森 晃新会長は全くの新人ですが役員一丸となって甲賀市企業人権啓発推進協議会の設立主旨を念頭に研修・啓発活動を推進していくと高らかに宣言されました。

引き続き、特別研修として『ハンセン病差別と人権』と題して黄檗宗(おうばくしゅう)菩提禅寺の安部正毅(あべまさき)住職からハンセン病の歴史的経過・差別の厳しい実態、後遺障がい克服するために作られた下駄・フォーク・スプーンを手にとり見てみる、実際に着用する、等の講演をいただき体感できる内容でした。

参加者らは、ハンセン病に係る歴史を振り返りながら、誤った知識が社会的差別や偏見を助長してきたことを学ぶとともに、今後企業が取り組むべき課題について考えていました。

歴史的背景・事実を現地の生の状況から学習し、正確な情報を得て判断・活動することの重要性を考える研修会でした。



ハンセン病差別と人権について熱弁の安部住職

平成29年度事業計画

1 会議

- 総会 4月21日
- 理事会・専門部会 適時

2 研修部

- 総会特別研修 4月21日
- 経営者トップ研修 7月12日
- 人権フォーラム 9月
- 会員対象フィールドワーク 10月
- 会員企業従業員対象人権研修 (甲賀市と合同) 11月3日
- 役員対象フィールドワーク研修 2月

3 啓発・広報部

- 広報誌「共に生きる」発行 2回/年 6月・12月
- 会員企業向け啓発グッズ配布 7月
- 人権パネル展 9月2日
- 人権標語の募集 12月
- 人権標語ステッカー配布 3月
- ホームページの更新(充実) 都度

4 雇用部

- 就労困難者対象パソコン教室(5日間) 9月
- 役員対象障がい者雇用に係る学集会 11月

5 その他

- 会員拡大に向けた取り組み 年間
- 関係団体との連携 年間

7月は「なくそう就職差別 企業内公正採用・人権啓発推進月間」です

甲賀市企業人権啓発推進協議会 人権標語入選作品発表

昨年12月に募集しました人権標語には101作品の応募をいただきました。その中から一次審査・二次審査を経て最優秀作品1点、優秀作品11点を決定いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

最優秀作品

思いやる 言葉ひとつで 笑顔がふたつ NEC SHOTTコンポーネンツ(株) 岸 栄吾

優秀作品

一言で 枯れる心と 咲く心
 見つけよう 人の優しさ美しさ みんな持つてる 宝物
 これくらい大丈夫 あなたのものさし あなただけ
 広げよう 笑顔のあいさつ 私から
 挨拶一つで職場は変わる 笑顔の連鎖はあなたから
 伝えよう あなたの心 感じよう 相手の気持ち!
 進めようみんなの心のバリアフリー
 感じていますか?人の気持ち 育てていますか?思いやりの心
 つなぐ手に 笑顔あふれる 花が咲く
 それぞれに抱いてる価値観ちがうけど 持つてる価値は みんな同じ
 気づいたら 迷わず出そう 救いの手

- | | |
|--------------------|-------|
| 住友電工プリントサーキット(株) | 笹川 貴嗣 |
| (株)滋賀銀行大原支店 | 蜂須賀拓也 |
| コムウッドゴルフクラブ | 若林 右子 |
| (株)アークレイファクトリー | 北川 元史 |
| 住友電工プリントサーキット(株) | 村田 啓 |
| 大塚オーミ陶業(株) | 長谷川 彰 |
| (株)レックメディカル | 加藤 章子 |
| 日之出水道機器(株)滋賀物流センター | 長坂慎太郎 |
| 社会福祉法人 甲賀会 | 小川 伸子 |
| 平和発條(株)滋賀工場 | 吉川 正 |
| 甲賀協同ガス(株) | 島田 淳二 |
- (敬称略)



最優秀賞 岸 栄吾さん



優秀作品入選者のみなさん

障がい者雇用にかかわる学習・懇談会

平成28年11月16日(水)、サントピア水口にて、特定非営利活動法人マイ・ライフ福祉事業所春の日のサービス提供責任者矢部尚人氏を迎えて、障がい者雇用にかかわる学習・懇談会が開催されました。

春の日では障がいのある24名の方たちが産業給食の製造・販売等を行っておられます。就労継続支援A型事業を展開しており、障がい者は作業以外にあいさつや5S活動、健康管理等の就労トレーニングを受け、最終的に一般企業への就労移行を目標とされています。体や心、暮らしが安定しないと仕事も安定しないことから、一人一人に応じたプランを立てているものつまづきもあり、細やかで丁寧な援助が必要であることが言われていました。

春の日の理念は「希望するすべての人が地域で暮らせる共生社会の実現」です。

どんなに障がいがあっても、地域の中で健常者と共に働き暮らせる社会を作っていくのは、当事者だけでなく私たちひとりひとりの意識・力にあることをあらためて考えることができました。

(あいの土山福祉会 岡田重美・記)



研修・懇談に対応いただいた矢部尚人さんと参加者